

“声でバスドラムを操る”システム「VXD」を一般に初公開
ヤマハドラム企画展示「Yamaha FUTURE BEAT!」開催

期間：2025年7月18日（金）～8月24日（日）

会場：Yamaha Sound Crossing Shibuya（ヤマハサウンドクロッシング渋谷）

ヤマハ株式会社は、ヤマハドラムの企画展示「Yamaha FUTURE BEAT!」を7月18日（金）～8月24日（日）に、ブランド発信拠点であるYamaha Sound Crossing Shibuya（ヤマハサウンドクロッシング渋谷）で開催します。

今回の展示は、ヤマハドラムの製品づくりにおける挑戦と技術とともに“多くのミュージシャンの感性を刺激し表現を支える製品を届けたい”という思いをお伝えするために行うものです。声をトリガーにバスドラムを操るシステム「VXD」をはじめ、現行品のすべてのシリーズの電子ドラムセットやエレクトロニックアコースティックドラムモジュール、フィンガードラムパッドなどを揃え、いずれも体験いただけます。「VXD」の一般公開は今回が初めてとなります*1。



なお期間中、館内ではアーティストのライブ・イベントや限定カフェメニューの提供も行います。

<企画展示「Yamaha FUTURE BEAT!」概要>

日時：2025年7月18日（金）～8月24日（日）12:00～20:00

火曜定休（祝日を除く）、8月11日（月）～15日（金）は夏季休業

※1「VXD EXPERIENCE」は、7月18日（金）～8月17日（日）

会場：Yamaha Sound Crossing Shibuya（ヤマハサウンドクロッシング渋谷）

東京都渋谷区桜丘町3番4号 渋谷サクラステージ SAKURA サイド 3階

<https://www.yamaha.com/ja/about/experience/yamaha-sound-crossing-shibuya/>

料金：無料

予約：不要（混雑状況により、整理券配布を行う場合があります。）

※ライブ・イベントや楽器のメンテナンスなどにより、一時的に体験できない場合があります。

イベントウェブサイト <https://www.yamaha.com/ja/about/experience/yamaha-sound-crossing-shibuya/event/2025/250718-0824-01/>

1. VXD EXPERIENCE

「VXD」は、当社と慶應義塾大学との共同研究プロジェクトで構築した“声でバスドラムを操る”システムです。当社独自技術の「Real Sound Viewing^{※2}」を応用し、マイクとセンサーが演奏者の「ドン」の発声を検知すると、それがトリガーとなり、バスドラムの中の加振器が振動して音が出ます。同システムの開発は、ロックバンド「RADWIMPS」のドラマーである山口智史さんの提案によりスタートしました。



山口さんは2009年、演奏時に無意識に筋肉がこわばってコントロールが利かなくなるミュージシャンズ・ジストニアを両足に発症し、2015年から活動休養をしていました。当社は2024年12月、Yamaha Sound Crossing Shibuyaで開催したイベントのゲストとして山口さんを迎え、「VXD」を搭載したドラムセットで演奏を披露していただきました。

「VXD」の一般公開および体験ができる機会は、今回が初めてとなります。

※「VXD」の名称は、「声（VOICE）・歌（VOCAL）」と「ドラム（DRUM）」の頭文字に由来します。

展示製品）ヤマハ ドラムセット「Tour Custom」

参考情報）ヤマハ研究開発ウェブサイト「声でバスドラムを操る VXD」

https://www.yamaha.com/ja/tech-design/research/reports/25_vxd/

2. Yamaha Electronic Drum DTX ALL SERIES BEAT SPOT !

練習機能が充実した初心者向けの「DTX402シリーズ」からフラッグシップモデル「DTX10シリーズ」、2025年5月発売の「DTX6K5-MUPS」まで現行品の電子ドラムセット6モデルや、電子パーカッションパッドなどを展示します。いずれも自由に体験できます。

展示製品) ヤマハ 電子ドラム「DTX402KS」「DTX452KS」「DTX6K3-XUPD」「DTX6K5-MUPS」「DTX8K-XRW」「DTX10K-XRW」、電子パーカッションパッド「DTX-MULTI 12」

※ヤマハ ドラムセット「Stage Custom Hip」とエレクトロニックアコースティックドラムモジュール「EAD10」、ドラムトリガー「DT50S」「DT50K」、メッシュヘッド、ジルジャン シンバル「L80 Low Volume Cymbal Set」を組み合わせた展示もあります。



3. ステージで! EAD10×Acoustic Drums 体験!

アコースティックドラムの生音にトリガー音色やエフェクトを付加できるエレクトロニックアコースティックドラムモジュール「EAD10」の機能や操作を、ライブエリア「STAGE (ステージ)」で演奏しながら試すことができます。

展示製品) ヤマハ ドラムセット「Live Custom Hybrid Oak」、エレクトロニックアコースティックドラムモジュール「EAD10」



4. Yamaha BEAT! Café/Bar

カフェエリアで、ドラムにまつわるメニューを期間限定で提供します。各テーブルにあるフィンガードラムパッド「FGDP-50」「FGDP-30」を楽しみながらくつろげます。

- ・Yamaha Drum カフェラテ 520円 (税込)
ドラムのラテアートをあしらったカフェラテです。ソイラテに変更もできます (追加料金 50円/税込)。
- ・カクテル「KICK PEDAL」 790円 (税込)
フットペダル「FP9」のポイントとなるカラーを、クラフトジン「KOMASA GIN」と金箔で表現したカクテルです。
- ・モクテル「CRASH CYMBAL」 690円 (税込)
クラッシュシンバルをイメージした、日向夏風味のノンアルコールのドリンクです。



5. ヤマハドラム体験/アンケート回答でクリアファイルまたはステッカーをプレゼント

7月18日(金)～8月24日(日)の期間中、Yamaha Sound Crossing Shibuyaでドラムを体験された方、またはアンケートに回答された方に、クリアファイル/ステッカーのいずれかをプレゼントします。※以下いずれかをお選びいただけます。お一人様1枚、数量限定です。

- ・DTX オリジナルクリアファイル
電子ドラム「DTX」の象徴的なパーツ、モチーフをデザインしたA4サイズのクリアファイルです。
- ・Yamaha Sound Crossing Shibuya ステッカー
イラストレーターのクバハジメさんが「Yamaha FUTURE BEAT!」のために描き下ろしたイラストを使用した、スマートフォンサイズのステッカーです。



<関連イベント>

「Yamaha Sound Crossing Shibuya」 近隣のイケシブ (IKEBE SHIBUYA) 3階「ドラムステーション」で、ヤマハの電子ドラムのサンプリング音源の元となったフラッグシップモデル「PHX」またはヤマハドラムを代表する「Recording Custom」の体験を楽しめます。イケシブの関連イベントの情報は、Yamaha Sound Crossing Shibuyaのウェブサイトに掲載予定です。

<https://www.yamaha.com/ja/about/experience/yamaha-sound-crossing-shibuya/event/2025/250718-0824-01/>

イケシブ (IKEBE SHIBUYA) 3階 「ドラムステーション」

東京都渋谷区道玄坂1-7-4 渋谷スクエア B

<https://www.ikebe-gakki.com/Page/shopdetail/drumstation-shibuya.aspx>

※2 「Real Sound Viewing」

ヤマハが“ライブの真空パック”をコンセプトに技術開発を進めている、アーティストの演奏をそのまま保存し再現するシステムです。演奏をデジタル化して正確に記録し、アコースティック楽器の生の音による自動演奏でアーティストの演奏を忠実に再現。演奏するアーティストの映像を組み合わせることで、臨場感あふれるバーチャルライブを実現します。

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：森田

TEL. 050-3148-8660

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

Yamaha Sound Crossing Shibuya

https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=1030&lcl=ja_JP
